

全国革新懇総会・交流会の大成功をうけ 私たちも奮闘しましょう。

10月24日25日全国革新懇第29回全国総会、地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 奈良が行われ、1500人の参加で大成功となりました。

いま、私たちに求められるのは全国の仲間のすんだ取り組みに学び、これからもみんなで力を出し合い奮闘していくことです。

まず、何といっても仲間を増やすこと。家族・友人・知人との対話を通じ拡大に努めましょう。

希望ある21世紀をめざす 証券・北浜革新懇だより

発行：証券・北浜革新懇事務局
2009年第6号(11月発行)

革新懇運動の三つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位の車換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。



第3回
里山順一と愉快な仲間たち展
(作品展/ミニコンサート/交流会)

11/28 (土)
ドーンセンター 第2大会議室
PM.1:30~4:30

ミニコンサート
(オカリナ・ヘルマンハーブ)

出展作品は決まりましたか
家族・友人・知人と誘いあって参加しましょう。



11/14(土)

秋の平野ツアー
think you

歴史の中心だった
上町台地を歩こう!!
天王寺七坂・七名水、
石畳とお寺を楽しもう

集合：13:00
環状線玉造駅改札口
(昼食は済ませてきてね)

参加費：300円
(訂上げ交流会費用は 別途徴収)

参加希望者は、各世話人へ申込をしてくださいます。(交流会の参加有無を含めて)

会員あれこれ

築山 美朝

第7回総会&忘年会
12/11(金) 18:30~20:00
場所 アイクル

12/8(火)
講演と音楽の夕べ
18:30~エルおおさか
参加費：¥1000

今年の7月21日から8月20日まで、ニューヨークの娘夫婦のところへ妻と出掛けてきました。目的は英会話の勉強でなく、娘が立ち上げた仕事の様子を見に行くものでした。でも、空いた時間がたつぷりあったので、娘たちとフィラデルフィアからワシントンへの旅行、ニューヨーク郊外からペンシルベニア州に入った湖畔でのバカンスも楽しんできました。あとはアパートから歩いて行けるメトロポリタンはじめいくつかの美術館巡り、朝の散歩でセントラルパークなど、マンハッタンの中をウロウロしていました。そんななか、ジョン・レノンの死後、彼の愛したセントラルパークの散歩道に「イマジンの言葉を刻んだモザイクがあるので訪れてみました。そこにはたくさんの人たちがモザイクを取り囲み写真を撮ったりしながら佇んでいました。私もここにいるみんなと同じように戦争のない世界をとの思いを込め、心の中で手を合わせてきました。

革新懇が出番

証券界をどう転換させるのか
地盤沈下の著しい北浜を
どう再生させるのか

全国革新懇総会・交流会に参加して

中村康郎

国民の期待・不安・探求にどうこたえらるか

革新懇の全国交流会が京都奈良で初めて開催されると聞いた時、「なぜ今」と考えていましたが、今、少し「ガツテン」しています。

それは、革新懇が掲げる共同目標の平和、民主主義、生活向上を支える上で、政治の革新が重要ですが、ここ2、3年奈良の「頑張り」が注目されました。この状況のもとで、古都奈良から「元氣な展望」を全国に発信しようとする意図か、と考え、一人領いています。



先の総選挙で自公政権から民主党中心の政権への交代劇があり、国民のなかに「政治が変えられるかもしれない」との探求と模索が強まっています。今総会（交流会）で、共産党の委員長、志位氏が

別発言で「この問題にどうこたえられるのか」との期待を持って参加しましたが、その内容は期待に沿ったものでした。

具体的には、今後国民の視線で、国民とともに平和、民主主義、生活向上を支える「国民が主人公」の政治をすすめるため、「革新懇が出番」との確信を強くしました。

私たち「証券・北浜革新懇」で言えば、これまで全国的にも注目をあびた諸活動に加え、真の国民経済を構築するため証券界をどう転換させるのか、また、地盤沈下の著しい北浜を歴史的文化的にちりばめられた地域の特性を生かしながらどう再生させるのかとの任を担っているのではない。その視点から「会

でも論議をしたい。そんな気持ち膨らんできました。



平和と革新懇の役割

また、平和問題では、戦時中、証券界は戦費調達のための国債販売に協力してきた経緯がある。あるいは戦後の一時期、大阪証券取引所の建物に進駐軍が駐留したこと等から、物理的にも取引所の機能が果たせなかった苦い歴史を思い出しました。

しかし、「戦争を繰り返さない」と誓い、その理念を明文化した世界に誇れる平和憲法を掲げる日本で、しかもオバマ大統領が「核廃絶」を訴えるなど世界的に平和の流れが出てきている。にもかかわらず、キナ臭い戦争への道に突き進めようとするグループが再び息を吹き返そうと

しており、平和、9条を守る運動が重要となつていきます。

居住地域（奈良市あやめ池）とのつながりが薄い私ですが、先日新聞に、居住地域の「9条の会」のチラシが挟まっていました。何気なく見ると、書かれていた50名の賛同者の氏名に大学教授や医師、弁護士らの知識人が10数名、小さな居住地域で、その輪が多くの識者に広がっていることに驚きを持ちました。

現在の政権が対財界・米国の関係では、まだまだ腰がひけているなかで、先にも述べましたが、真に「国民が主人公」の政治を求めていくため、革新懇の役割は増してきています。

しかし、拡大できる要素を持ちながら、現在全国の革新懇が795団体とまだまだ小さく、特に「青年革新懇」の拡がりが見られること。ただ、今回過去最高の1500名強の参加者の熱い息吹と全国からの各革新懇の果敢な活動報告を聞き、「明るい展望が

持てた」そんな感想を持ちながら、会場を後にしました。